

競技注意事項

1 競技規則について

本大会に適用する規則は、2012年度日本陸上競技連盟競技規則および大会規定である。

2 練習について

練習は全てサブトラックを使用する。ただし、サブトラックでの投てき練習は一切禁止する。
フィールド種目の練習は競技場内で役員の指示により行う。練習時間は、棒高跳60分、その他の種目は30分とする。

3 招集について

(1) 場所は雨天練習場に設ける。

(2) 種目別の開始時刻、完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。

(3) 手順

- ① 招集開始時刻に競技者係の点呼をうける。その際、ナンバーカード・腰ナンバーカード（左右両腰に着ける）とスパイクピンの確認を受ける。
- ② 点呼の代理人は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラムの末尾に綴込み）を提出し、併せて招集に来ることが出来ない種目の点呼（ナンバーカード・腰ナンバーカード・スパイク等の点検）を受けておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。
- ③ 混成競技については、1日目・2日目ともに第1種目は競技者係にて行う。以降の種目については、招集所北側の混成競技者控え場所に、トラック種目は競技開始の20分前、フィールド種目は35分前までに集合すること。ただし、最終種目については競技者係にて行う。なお、途中で棄権する場合は必ず混成競技係に申し出ること。

(4) 招集完了時刻に遅れた競技者は出場する意志がないものと見なし処理する。

4 競技について

(1) レーン、試技はすべてプログラムの記載の番号順とする。準決勝以降の組合せ（レーン順、試技順）はすべて番組編成員が行ない、招集所とCゲートに掲示する。

(2) 競技結果については、場内アナウンス及びスクリーンで発表する。

なお、競技結果が場内スクリーンに確定表示された時点を、正式発表とする。

(3) リレーオーダー用紙の提出について

予選のオーダー用紙は、全て初日の学校受付時に配付する。

	提出先	提出時刻
予選	招集所入り口付近の 競技者係	1組目の招集完了時刻の2時間30分前から 1時間30分前まで
準決勝・決勝	同上	招集完了時刻の1時間40分前から40分前まで

準決勝以降のオーダー用紙は、競技者係で受け取り、変更の有無にかかわらず必ず提出すること。
尚、リレーオーダー用紙の記入例をプログラム巻末に掲載しているので参考のうえ間違いのないように記入すること。

(4) 5000m、女子3000m、5000m競歩は別（胸、腰）ナンバーカードを使用する。また、1500m、3000mSCは別（腰）ナンバーカードを使用する。4×400mにおいて2・3・4走者は、左右両腰に腰ナンバーカードを着けること。
5000m、女子3000mはグループスタートで行う。

(5) トラック競技における次のラウンドへの進出者について

- ① (+α)を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、下記の方法によって行う。
(ア) 空きレーンがある場合・・・同タイムの選手の進出を認める。
(イ) 空きレーンがない場合・・・写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。
(ウ) それでも決められない場合・・・本人または代理人により抽選する。
- ② 同着により着取りで進出者が増えた場合は、+αでの進出者数を減らすことがある。

(6) 競技運営の都合上、5000m競歩では、男子35分、女子40分で競技を打ち切る場合がある。

- (7) 走高跳・棒高跳で6位同順位の場合、近畿大会出場権決定戦を行う。
- (8) 混成競技の最終種目では、男子は第7種目、女子は第6種目終了時点の合計得点による順位をあらわす別ナンバーカードを着用する。

5 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、主催者が用意したものを使用する。
- (2) 棒高跳用ポールは自己のものを使用する。
- (3) やりは競技場備え付けのものを用意するが、検査をうけて自己のものを使用してもよい。その際の検査場所、及び検査時刻は下記のとおりとする。

検査場所・・・フィニッシュ側器具庫

検査時刻・・・男子 = 第2日 10:55～11:15 女子 = 第1日 8:40～9:00
八種 = 第2日 9:55～10:15 七種 = 第3日 10:20～10:40

6 フィールド競技の予選通過標準記録は下記のとおりとする。

種 目	走 高 跳	走 幅 跳	三 段 跳	砲 丸 投	円 盤 投	や り 投
男 子	1m83	6m60	13m50	12m20	35m50	51m50
女 子	1m55	5m25	-----	10m80	32m50	36m50

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

男子	予	練習	1m70	1m75－80－83
走 高 跳	決	練習	1m75	1m80－85－90－93－96－99－2m02－05 ・ ・ ・ 3cmきざみ
女子	予	練習	1m40	1m45－50－55
走 高 跳	決	練習	1m45	1m50－55－58－61－64－67－70－73 ・ ・ ・ 3cmきざみ
八種 走高跳	1m55までは5cmきざみ 以降は3cmきざみ			最初の高さが異なる2グループで実施
七種 走高跳	1m35までは5cmきざみ 以降は3cmきざみ			最初の高さが異なる2グループで実施
棒 高 跳	決	練習	2m60	2m80－3m00－20－40－60－80－90－4m00－10－20 ・ ・ 10cmきざみ

※ 1位決定・近畿大会出場権決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

8 種目別表彰について

- (1) 種目別3位までの表彰を行う。成績発表後直ちにロビーの受賞者席に集合すること。
（他種目に出場中の場合は代理人を出すこと）4位から6位は賞状を表彰係まで取りに来ること。
- (2) 優勝者の栄誉を讃えて部旗を掲揚するので、部旗を表彰係まで持参し、係の指示に従うこと。

9 その他

- (1) 写真撮影を希望する学校は、学校名入りの腕章を準備し、総務の許可を得て、1校1名に限りスタンド下通路での撮影を認める。
- (2) 閉会式後、全国高等学校陸上競技対校選手権大会近畿地区予選会の出場校顧問打合せを行う。
- (3) スタンド、更衣室は常に清潔保持につとめ、ゴミ等は必ず所定の場所に分別して捨てること。
- (4) 競技場内での応援・横断幕については申し合わせ事項による。
- (5) 競技終了後、直ちに競技場の清掃を行うので、下記地区の生徒は本部前に集合すること。

第1日 東播地区 第2日 丹有・但馬・淡路地区 第3日 西播地区